

## 音読検定の出題範囲と審査基準について

5級	
レベル	古代の和歌の音読
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none"><li>●基礎発声</li><li>●カタカムナ5・6首</li><li>●古事記（創世の神々、スサノオノミコトの歌）</li><li>●万葉集（雄略天皇の歌）</li><li>●古今和歌集（仮名序）</li></ul>
審査基準	<ul style="list-style-type: none"><li>●母音の口の形が区別されていること</li><li>●うたい読み（カタカムナ読み）をマスターしていること</li><li>●古今和歌集を5つの読み方（うたい読み、1音1音読み、スラスラ読み、祝詞読み、ののしり読み）で読めること</li></ul>

4級	
レベル	平安時代文学の音読
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none"><li>●竹取物語（冒頭部分）</li><li>●伊勢物語（初冠冒頭）</li><li>●土佐日記（冒頭部分）</li><li>●枕草子（第1・2段）</li><li>●源氏物語（桐壺冒頭）</li><li>●更級日記（冒頭部分）</li><li>●大鏡（三船の誉れ冒頭部分）</li></ul>
審査基準	<ul style="list-style-type: none"><li>●基礎発声をマスターしていること</li><li>●源氏物語を水の流れのようにさらさらと読めること</li><li>●大鏡を強く読めること</li></ul>

3級	
レベル	中世の散文・和歌の音読
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>●方丈記（冒頭部分）</li> <li>●平家物語（祇園精舎、扇の的冒頭部分）</li> <li>●徒然草（序段、第11段）</li> <li>●梁塵秘抄</li> <li>●高砂</li> <li>●風姿花伝（七歳冒頭部分）</li> </ul>
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎発声をマスターしていること</li> <li>●源氏物語を水の流れのようにさらさらと読めること</li> <li>●大鏡を強く読めること</li> </ul>

準2級	
レベル	江戸期以降の散文・和歌の音読
主な出題範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本朝永代蔵（冒頭部分）</li> <li>●奥の細道（冒頭部分）</li> <li>●東海道中膝栗毛（冒頭部分）</li> <li>●南総里見八犬伝（冒頭部分）</li> <li>●学問のすすめ（冒頭部分）</li> <li>●舞姫（冒頭部分）</li> <li>●にごりえ（冒頭部分）</li> </ul>
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スラスラ音読できること</li> <li>●読み間違えても訂正して読み直すこと</li> <li>●意味が伝わる速さであること</li> <li>●ゆっくり読みすぎないこと</li> </ul>

※1・2級の出題については、理事会の精査中です。